

こどもを守る



安全対策だより



日田教室

防ごう！冬の事故

火災防止

ストーブの周囲には、布団や衣類、紙類などの燃えやすいものを置かないようにしましょう。
また、ほこりや汚れが火災の原因になることもあるため、定期的な清掃や点検が大切です。こたつの内部にも、燃えやすいものを入れないよう注意しましょう。



火傷防止

ストーブ

近づいて触れてしまわないよう柵を設置し、熱風や熱気による火傷に注意しましょう。
使い方や設置場所の見直しも大切です。



加湿器・ケトルなど

高温の蒸気や熱湯による火傷、コードに引っかかる転倒事故に注意し、設置場所を確認しましょう。

こたつ

長時間の使用は低温火傷の恐れがあります。寝てしまった場合は、早めに布団へ移動させましょう。

登下校時の注意

登下校時の注意

路面の凍結や視界不良に備え、雪の日は目立つ服装を心がけましょう。



厚着は避けましょう

動きにくく転倒しやすくなるため、薄手で暖かい服装がおすすめです。

帽子・手袋の使い方

防寒に役立ちますが、遊具で遊ぶ際は外すと安心です。

フード・マフラーの安全性

遊具や木に引っかかる恐れがあるため、遊ぶ際は避けましょう。

冬の脱水症状

冬は脱水症状が起こりやすく、発熱や嘔吐、下痢などの症状がある場合は、さらにリスクが高まります。お子さんは大人より水分を失いやすいため、喉の渇きを感じる前から、寒い時期でもこまめな水分補給を心がけましょう。



冬は、行事やイベントが多く、お子さんにとって楽しみの多い季節です。

一方で、暖房器具の使用や路面の凍結など、冬ならではの事故や怪我が起こりやすい時期でもあります。

ご家庭で気を付けていただきたい冬の事故と、その予防のポイントをまとめました。教室でも、絵カードなどで冬の事故の防ぎ方など学んでいきたいと思います。